

## 設計課題 小規模なリゾートホテル

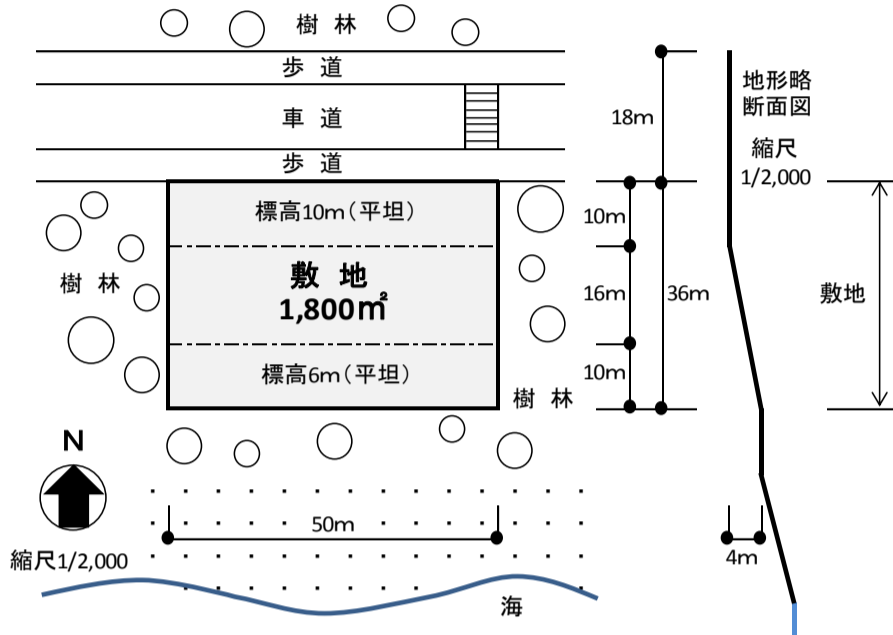
### I. 設計課題

#### I. 設計課題

この課題は、ある地方都市郊外の海岸近くに建つ、小規模なリゾートホテルを計画するものである。本計画は、敷地内の高低差を考慮して、南側に広がる豊かな自然景観を重視する。また、計画では、高齢者等の利用に配慮するとともに、パッシブデザインを、積極的に取り入れるものとする。

#### 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、斜面を含むが、北側道路及び南側隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでできるものとする。
- 敷地は、都市計画区域及び準都市計画区域外の区域内にあるが、景観保全のため建ぺい率の限度は、70%、容積率の限度は200%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤の状況は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



#### 2. 建築物

- 構造・階数等  
構造種別は自由とし、地下1階、地上2階建て勾配屋根の1棟の建築物とする。
- 床面積の合計  
床面積の合計は、2,200㎡以上、2,600㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、搭屋、バルコニー、屋外階段等については床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
・宿泊部門は2階に計画する。 ・共用部門は、日帰り客も利用する。			
宿泊部門	ツインルーム	・全6室(約30㎡/1室)を設ける。 ・バス、トイレ付きとする。 ・ベッド(2台)、テーブル、椅子、ミニキッチンを設ける。	約180㎡
	ファミリールーム	・全3室(約60㎡/1室)を設ける。 ・バス、トイレ付きとする。 ・ベッド(4台)、テーブル、椅子、ミニキッチンを設ける。	約180㎡
	ハンディキャップルーム	・1室を設ける。 ・バス、トイレ付きとする。 ・ベッド(2台)、テーブル、椅子、ミニキッチンを設ける。	適宜
	和室	・和室(10畳)を設ける。 ・バス、トイレ付きとする。 ・談話スペース、押入れ、ミニキッチンを設ける。	適宜
	自販機室		適宜
	ランドリー室		適宜
共用部門	レストラン	・40席程度の椅子席を設ける。 ・厨房を設ける。	適宜
	大浴場	・男女別に設ける。 ・それぞれ約120㎡とする。 ・露天風呂、サウナ、脱衣室、便所を設ける。	約240㎡
	マッサージルーム	・男女別に設ける。 ・受付、休憩コーナー、便所を設ける。	適宜
	多目的室	・無柱空間とする。	約180㎡
	売店	・地域の物産などを販売する。	適宜
	エントランスホール		適宜
管理部門	事務室	・5人分の事務スペースを確保する。	適宜
	更衣室	・男女別に設ける。	適宜
	休憩室		適宜
	設備スペース	・採用した設備計画に応じて、設備機械室(空調、給排水衛生、電気、消火等)、屋外機器置場等を計画する。	適宜
・便所及び倉庫については適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

#### 3. その他の施設等

- 駐車場は、送迎用マイクロバス(3.5m×7.0m)として1台分、車椅子利用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。  
利用者用及び従業員用は、敷地外の駐車場を利用するものとし考慮しなくてよい。
- 送迎用マイクロバス等が利用する車寄せは、車両動線及び天候に配慮して設ける。
- 駐輪場は、レンタサイクル用として10台分を設ける。
- (1)及び(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

#### 4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 敷地の周辺環境に配慮する。
  - 建築物はバリアフリー(特別特定建築物)、セキュリティに配慮する。
  - 宿泊部門、共用部門及び管理部門を適切にゾーニングし、明快な動線計画とするとともに、避難等に配慮する。
  - 自然採光及び自然通風を積極的に取り入れる計画とし、日射の遮蔽に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - 構造種別、架構形式及びスパン割りを適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備、消火設備等を適切に設けるとともに、環境負荷低減に配慮する。なお、給水設備は受水槽方式とする。
  - エレベーターを適切に設ける。

### II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

#### 1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、計画に留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して説明しても良い。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階(又は地下1階)兼配置図 1/200	① 各階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 建築物の出入口
(2)地下1階平面図 1/200	ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要求室の特記事項に記載されている什器等 チ. 通路、植栽等
(2)2階平面図 1/200	② 地下1階平面図には次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路
(4)断面図 1/200	③ 1階平面図兼配置図には次のものを図示又は記入する。 イ. 地下1階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 駐車場(台数及び出入口を明治する。)及び車寄せ ④ 2階平面図には次のものを図示又は記入する。 イ. 1階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. ツインルームの室名(T1~T6)と表示する。 ハ. ファミリールームの室名(F1~F3)と表示する。 ニ. 代表的なツインルーム、ファミリールームの室内プランを表示する。 ホ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路
(4)断面図 1/200	① 断面位置は、南北方向とし、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。 なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 搭屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③ 基礎(一部省略してもよい)、梁及びスラブの断面を図示する。 ④ 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。

#### 2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1~2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

#### 3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 車寄せ、駐車場等の配置及び動線計画について工夫したこと
  - 景観及び眺望について工夫したこと
  - バリアフリーについて工夫したこと
- 構造計画について、次の①及び③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - 多目的室を無柱空間とする上で工夫したこと
  - 勾配屋根の構造計画について工夫したこと
- 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 採用した空調方式とその理由
  - 採用した給湯方式とその理由
  - 設備機器の配置計画について工夫したこと
- 建築物の環境負荷低減(熱負荷の抑制、省エネルギー等)について工夫したこと